

事務事業名	認定こども園運営事業(幼保連携型)	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	教育・保育グループ	課長名	狩野 明芳
施策名	(26)子育て支援の充実	担当者名	錦織 研吾	電話番号	0854-40-1044
目的	対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	(内線)	2251
基本事業名	(078)子育てと仕事の両立支援	0 1 1 5 0 4	中事業 中事業名	認定こども園運営事業	
目的	対 保護者 意図 仕事と子育てを両立できる。	1 0 1 5 0 3	中事業 中事業名	木次こども園運営事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 幼保連携型認定こども園(H27年度:木次こども園)において、入所児童の健全な育成のため、特別保育事業の実施など多様化する保育ニーズに適応した保育機能を充実させる。また、児童福祉法に定められている施設及び運営の最低基準を維持しつつ、入所している児童が安全で健康的に保育されるようこども園環境の向上に努める。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動) 幼保連携型認定こども園(木次)の管理運営	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 幼保連携型認定こども園(木次)の管理運営			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	幼保連携型認定こども園入園者数(年度末、2号3号児)	人			87	85
イ	幼保連携型認定こども園入園者数(年度末、1号児)	人			32	22
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	幼保連携型認定こども園入園児	ア 幼保連携型認定こども園入園者数(年度末、2号3号児)	人			87	248
		イ 市内幼保連携型認定こども園定数(2号3号児)	人			100	275
		ウ 市内幼保連携型認定こども園数	箇所			1	2
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	幼保連携型認定こども園入園児を心身ともに健やかに育成する。	ア 待機児童数(10/1基準日)	人			2.0	0.0
		イ 入所率(入所児童/定員)	%			87	90.2
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
総事業費:42,309千円 【国庫:子・子支援280千円、保育の質向上105千円、県:子・子支援280千円、しんすく214千円、3子無料776千円】 報酬:232千円、賃金:29,104千円 報償費:99千円、旅費:77千円 需用費:9,669千円、役務費:741千円 委託料:966千円、使用料及び賃借料:1,302千円 原材料費:20千円、備品購入費:99千円	財源内訳	千円			385	206
	国庫支出金	千円			1,270	1,838
	県支出金	千円				
	地方債	千円			16,607	14,229
	その他	千円			24,047	26,525
	一般財源	千円			42,309	42,798
	事業費計(A)	千円				
	正規職員従事人数	人			11	
	延べ業務時間	時間			2,000	
	人件費計(B)	千円			7,828	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			50,137	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成25年4月より木次保育所と木次幼稚園を「木次こども園」として運営。平成27年4月より認定こども園木次こども園(幼保連携型)として開園。H27.4より子ども・子育て支援新制度が施行。 H28.4から加茂幼児園も幼保連携型認定こども園へ移行。	H28.3子ども子育て支援事業計画により計画的に認定こども園化を推進し、質の高い教育・保育を提供する。	3歳以上児棟(旧木次幼稚園)において、保育所籍利用児の増加により、幼稚園籍利用児の14時以降の預かり保育利用がままならない状況となっている。施設面の要因によるところが大きい。関係者・保護者からは早期の建替要望がある。

事務事業名	認定こども園運営事業(幼保連携型)	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	-------------------	-----	--------	-----	--------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現在の施設では入所者数に限りがあるが、建替えられれば定員の増も可能と思われるため受入者数の増及び待機児童の減少につながる可能性がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	法で義務付けられている保育の実施ができない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由		(具体的な手段や類似事業名)
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		法を遵守しながら、児童の受け入れを実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		保育業務の委託化により、経費(人件費)は削減可能である。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		制度に基づき実施しており、適正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		入所児童数の増加に伴う臨時職員(保育士、看護師等)の確保が難しく、保育所運営に影響を与えている。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> <li>入所児童数の増加に対応するための基準を満たす保育士の配置</li> <li>施設移転等による増員整備により、保育環境を整え、多くの児童の受入を図ることができる。</li> <li>保育ニーズを踏まえ保育所業務委託計画等に基づき実施する必要がある。</li> <li>「雲南市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、幼児期の保育や地域における子ども・子育て支援を総合的に推進していくこととなる。</li> </ul>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		